資料２－５
（第 39 回 監視円卓会議）

平成２８年度における総合防災訓練の実施結果について（当初施設主体分）

今年度の総合防災訓練を当初施設と増設施設の合同で実施しましたので、結果を報告します。

項目	内　　容
実施年月日	平成２８年９月２１日(水)　１０時００分～１１時１０分（天候：晴れ）
参加人員	・公設消防隊：隊員３５名、車両１０台（指令車１台、消防車２台、救急車１台、広報車３台、その他資機材搬送車両等３台） ・ＪＥＳＣＯ：３６名・ＭＥＰＳ：１０１名、その他：４４名 ○合計　２１６名　ほかに、行政ほか来賓１８名、新聞社２名、ＴＶ局１社
訓練の目的	緊急地震速報受信時の安全確保、地震時の避難、設備点検、緩降機による高所からの脱出、１１９番通報、火災・ＰＣＢ汚染負傷者発生時の対応、及び、公設消防との連携等、総合的な防災活動が的確に実施できることを確認する。
想定事象	①　地震発生（室蘭市内震度４を観測。事業所にて６０gal を想定） ②　増設：アンモニア漏洩発生 ③　増設：火災発生（処理棟１階 作業員詰所（非管理区域）から出火） ④　当初：攪拌洗浄エリア(管理区域レベル３）で作業員が負傷、ＰＣＢに被液
訓練項目	①　緊急地震速報受信時の行動（棚等から離れ、机下に頭を入れる、等） ②　地震発生→増設施設前駐車場に避難後、対策本部・指揮本部（当初・増設）・消防隊（当初・増設）を設置 ③　設備点検の実施 ④　漏洩・火災・負傷者発生時の１１９番通報及び初期対応（放水訓練含む） ⑤　高所（増設施設３階）からの緩降機による降下 ⑥　行政等関係箇所への通報連絡 ⑦(公設消防指揮権移譲後)公設消防隊による消火活動、化学防護服着用による搬送活動、ＰＣＢ汚染負傷者の除染テント設営による除染活動及び救急車による搬送活動
訓練結果	JESCO、MEPS 及び室蘭市消防本部の連携の下、予定された訓練項目を滞りなく消化し、総合的な防災活動が確実に実施できることを確認できた。
主な反省事項	①　負傷者の救急搬送において、負傷者のみが救急車に乗るのではなく、一緒に現場にいた作業者または負傷者の上司が同乗して救急隊員に情報を提供するべきではないか？ ⇒実際に負傷者が発生した場合、救急隊員から同乗が求められる。一緒にいた作業者、上司または安全対策課員が同乗者として考えられる。次回以降の救急搬送訓練でシナリオに反映する。 ②　来賓への訓練状況の解説は JESCO で実施していたが、来賓席から見ていた消防長から、公設消防の活動については公設消防から来賓に解説するようにしたいとの申し入れがあった。 ⇒次回総合防災訓練では公設消防からも来賓向けの解説員を出していただくこととする。

・　添付資料：訓練状況写真